

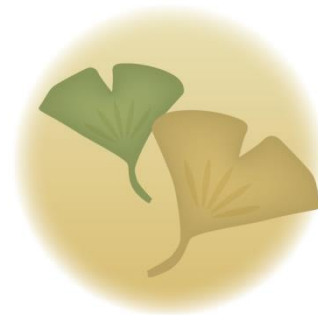
めじろむつみクラブ(MMC)会報

【第36号】 2016年(平成28年)9月1日発行

特定非営利活動法人(NPO)
めじろむつみクラブ(MMC)事務局
住所:八王子市めじろ台2-37-12
tel:080-1038-6875
<http://www.hachioji-mmc.com/>

【理事長挨拶】

会員の皆さま、残暑お見舞い申し上げます。
私事で恐縮ですが、会報35号でお話ししましたとおり、昨年12月に腰椎骨折で入院をしましたが、このたびJR片倉駅前の介護付き有料老人ホームに7月末入居しました。
入院以来、皆様方にはお見舞いや、暖かい励ましを頂き、深く々々感謝いたします。
また皆様と一緒に活動できるよう、こちらで更にリハビリに励みますのでよろしくお願ひします。
NPO法人めじろむつみクラブは新しい事務所が軌道に乗り、今後一層充実した活動を行うべく努力してゆきますのでご期待ください。



理事長 高橋 光男

【平成28年度の作業状況】 (8月31日現在)

(1) 有償の生活支援及び地域交流事業

4月1日から8月31日までの有償作業件数は69件、金額は1,729,000円(昨年同期75件、2,281,000円)と昨年に比べ、少なくなっております。

これは今迄作業依頼のあった方が、高齢化等により施設に入られたり、引っ越しをされたためと思われる。

作業内容は、生活支援事業では植木剪定、除草作業が多いですが、戸袋の鳥の巣撤去、雨どい補修、屋根補修、下水桝清掃、温室鉢移動、花苗植え込み、留守宅管理、門扉塗装、タイルの補修、網戸補修、電球交換、エアコン掃除、不要物処分、マンション遊具の撤去、塗装、一部の引っ越し荷物運搬、道路拡張によるフェンス移設等を行いました。

地域交流事業では、駅前灰皿スタンド清掃、桜まつりでの資材運搬、空地の草刈処分、祭準備の軽トラ運転等を行いました。

今後も皆様のご要望に応じて家庭内の細かい作業についても対応してゆきたいと思っております。



不要材の処分



タイルの補修

(2) 広報活動

1. 昨年、志民塾生たちにめじろ台の各町会と我々MMC がうまくタイアップしているとのことで、めじろ台会館に訪問、説明しました。みなみ野在住の塾生が自分たちのシニアクラブで、講演をしてほしいとの依頼で6月4日に4丁目元町会長の大石さん、我々東、佐藤、田中がプロジェクトを使用して説明しました。今後、作品展他でも交流を深めてゆきます。

2. 6月25日NPO さぼーと802主催の広報チラシの作成について著名なプロデザイナー横尾嘉信さんによる実践講座があり、MMCで作成した会員募集のポスターが題材に選ばれました。

プロの目で見るとどのような点を修正、記入すべきかということ学ぶとともに参加者40人にMMCの存在を知らしめました。



プロ講師による広報実践講座

(3) 事務局便り

・5月22日無事にMMC総会が終わり、27年度決算、28年度事業計画、予算が承認されました。この結果をもとにNPO認証機関である東京都に7月1日理事の改選届と共に報告書を提出しました。

・今年は2年に1度の法人再登記の年、司法事務所を通して6月14日手続きをしました。

・5月に公益財団法人 大同生命厚生事業団の「シニアボランティア活動助成」に「趣味の作品展」開催で応募していましたが、助成金100,000円が頂けることになりました。

(4) 新規会員の紹介

5月1日以降、伊藤碩、高柳広明、宮嶋久人、秀嶋徹、守谷之宏、小林彰恵、大澤操さんが入会しました。28年度に入り累計で8名入会です。

(5) 新規賛助会員の紹介

・ヤマモト電気さん

専門的な電気工事は親切で、迅速。性格は気さくで、館町にあります。

・田島秀浩さん

クラフト アンド デザイン タジマの代表者で、めじろ台1丁目在住です。家具製作、リフォーム工事など専門的な工事を一般の会社よりも安価で丁寧な作業を行なっています。

【プロボノ1DAYチャレンジの報告】

平成28年6月に八王子市民協議会よりの紹介で、東京都の多様な主体の地域貢献活動による地域包括ケアの推進事業（東京ホームタウンプロジェクト）の一環としての「プロボノ1DAYチャレンジ」に応募参加いたしました。

「プロボノ」とは、[Pro For・・・～のために][Bono Good・・・いいこと]、[Publico Public・・・公共的な]という意味で、地域福祉の担い手に不足がちなビジネススキルや組織経営力の向上を実現するために企業人（企業で働いている現役の人）のビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動を行うプロジェクトと位置付けられています。

事務局との手続き、ミーティング（6月15日）を経て平成28年7月30日にMMC新事務所にて開催されました。

メンバーはプロボノチーム4名（現役企業人）、MMCからは10名（運営委員会、MMC活性化プロジェクト、事務局の参加希望者）、八王子市民協議会、東京ホームタウン事務局で下記内容にて長時間のミーティングと検討が行われました。

・MMCの現状の把握、今後の課題、地域のニーズへの対応を成果目標としてのミーティング



MMC事務所でミーティング

- ・プロボノチームでの整理と成果の検討作成・提案発表併せて後日
- ・「めじろむつみクラブの課題整理に向けて」のまとめが提案されています。

(まとめの項目内容)

- ・MMC.ヒヤリング内容のまとめ
- ・今後の方向性
- ・地域需要の視点、他団体の視点

*メンバー各自には提案書はお渡しいたしました。会員の皆様のご希望があればお送りいたします。

【活性化プロジェクトよりお知らせ】

平成27年9月に「MMCの活性化を考える勉強会」として組織内プロジェクトを発足し5人のメンバーと事務局2名で勉強会を続けてまいりました。主旨は、現在MMCが抱えている課題の整理、活動に結び付く組織的の活性化、今後への進め方等…を皆で話し合いながら提案に結び付くというものです。

月1回程度の会合を持ち、平成28年1月の定例会にまとめ(総論)を提示。2月からのミーティングを経て1部業務の分担変更(会報の作成、HPの管理)と、同時進行で事務局からの「パンフレットの刷新」を検討してまいりました。また、組織内のコミュニケーションの活発化もみられてきております。これからの課題は当然ありますが、活動、運営組織として運営会議での1本化が迅速な意思決定に結び付きます。よって、8月末で組織内プロジェクトを発展的解消させたいと思います。

【介護保険法改正とは～これからは私たちの老後は大きく変わります】



2014年(平成26年)6月介護保険法(地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律)が改正され、同月に施行されました。この改正は少子高齢化が進み、後期高齢者が前期高齢者の絶対数を上回る時代を迎え制度を大きく変える必要があります。

改正の方向は「医療から介護へ」「施設から在宅へ」の流れで在宅での生活継続の限界を高める視点で「地域包括ケアシステム」の構築が最重要課題となりました。

地域包括ケアシステムとは団塊の世代が75才以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されることを実現します。また重度な要介護状態にならないための予防対策も促進します。

改正の要は包括支援センターの機能強化です。介護保険の認定者の約27%を閉める要支援者について、訪問介護と通所介護については、予防給付の利用対象外として「新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)」に移行します。

八王子市も高齢化(24%平成26年)が進んでいます、特にめじろ台では40%だそうです。平成26年の新しい総合事業を始めるために「生活支援コーディネーター」(地域支え合い推進員)と「協議体」を作り今後は元気な高齢者が要支援高齢者を支えるシステム作りを行います。特に住民のボランティア活動やNPO活動大きな役割を担うことが期待されます。現在の高齢者安心センターや地域ケア会議も重要な役割が期待されます。

めじろむつみクラブもめじろ台安心ねっと協力してこれからの「新総合事業」に向けて介護予防や生活支援に取り組むことが求められます。

詳しくは高齢者安心センターめじろ台(042-669-3070)にお問合せください。

(田中 俊光)

【MMC歴史講演会「松姫没後400年…戦乱の時代に生きて」開催】

1. 日 時：6月19日（日） 開場13:00 開演13:30～14:45
2. 場 所：ライオンズマンション会議室
3. 講 師：平越祐子氏（市職員・図書館司書）
時友彰吾氏（市職員・城址・石垣研究家）
4. 会 費：200円



最初に20分間ほど、平越さんから自製の紙芝居で、松姫の一生を紹介。

1561年猛将・武田信玄の娘として生まれた。7歳の時、織田信長の長男・信忠と婚約。戦を経て、武田、織田両家は不仲となる。高遠城を出る。姻戚関係の3人の娘を預かり、幾多の困難の後、八王子に。信松尼と称し、3人の娘を育てる。後に八王子地場産業の中核となる機織りに取り組んだり、寺子屋などもつくる。婚約者である信忠とは文通はあったようだが、本能寺の変で、信長と自害、結ばれることはなかった。家康の時代、八王子初代代官・大久保長安は千人同心を組織、長安も千人同心も武田家の旧臣で、武田家の姫であった松姫を慕い、守り通した。姫は1616年逝去。遺言により、暮らしていた場所が信松院となった。

平越さんの紙芝居を補足する形で、約40分間。当時の戦国大名のさまざまな外交動向をプロジェクターを使って分かりやすく説明。今川氏の滅亡、三方が原の戦い、現在放映中のNHK大河ドラマ「真田丸」にも触れ、北条氏の滅亡、秀吉の天下統一、徳川の時代へと。終って、2、3の質問があった。20名ほどの入場者ではあったものの、読売新聞の超地域密着型（ハイパーローカル）情報誌「よみっこ」の取材もあり、参考なった講演会だったと思われる。

講座開催事業担当

【会員投稿 ～寸想～】

むつみクラブの皆様、いかがお過ごしでしょうか。暦の上では白露、残暑も引き……、といわれておりますが……。涼風が待ち遠しいです。入会していつの間にか十余年の歳月が過ぎました。身近のスケジュールに追われ、なんのお役にも立たず申し訳ございません。

それでも時折の会合、集まりには出席、それとなく皆様ともお馴染みとなりつつありますが、何よりも毎年の拙宅の庭の手入れ（庭木剪定、除草など……）お世話になっております。いつも温かく接して下さっていらっしゃる東さまを初め一行の方々、感謝しております。もっと積極的になり会合や会報にもお手伝い、或いは何か……と思いつつ、会報に目をとうさせていただいておりますが、カラー写真、内容もはっきりと分けて、それなりに他の会報に接しておる身にとりましては、とても理解しやすく、丁寧で、ありがとうございます。拙文にそえて、短歌(?)を添えさせていただきます。



“お早う狸ちゃん 朝の窓開け、今日もまた”

（我が家に一人になってから、共に年を重ねている陶器の狸ちゃん、地蔵様のように庭の左右の石塔の間に、チョンと座って、見つめて、今朝は上機嫌とおぼえておるのでしょうか……）

“お先にと、逝ってしまった あの人の、一碗のお茶 ただ上げるのみ”
（愛別離苦の言葉を噛みしめつつ……）

“一輪の花、一碗のお茶 何をか語らむ空の中”
（言葉なし……）

古川敦子